

「ご縁」をいただいたあなたへお届けする、「大きな想い」の「小さなお手紙」

2015年4月

65号



つるの おんがえし

丸坊主だった私が「つる」と呼ばれるようになって、間もなく30年。そんな「つる」があなたに「おんがえし」をします。

株式会社 感動・創庫

〒259-1145 伊勢原市板戸 208-103

TEL: 0463-79-9777

http://kando-soko.com

発行編集責任者: 芦川永光



世界一大きなみかん
熊本の晩白柚

とっても皮が厚いので、
2人がかりで格闘中!!



手がしみる〜



とっても美味しく
いただきました。



年度末のラストスパート、走っていますか？消費税徴収元年が8%になりましたが無事に乗り越えることができました。2015年度ももちろんガンガン行きます、感動・創庫の芦川永光です。冬のレジャーに出かける余裕もなく、気づけば春になりました。

朝ドラの「マッサン」ももうすぐ終わり。朝ドラだけど、夜呑みながらじっくり見る楽しみがなくなりました。ポステイングスタッフからはお子さんが、お孫さんが卒業とおめでたい話がいっつも聞こえてきます。桜の季節も、いつの間にかやってくるのでしょうか。出会いも別れも、一番多いのが春。一年で一番多くのことが変わる季節ですよ。

独立してからは毎年、この時季が恐怖でした。年明け2ヶ月はいつもヒマで、資金繰りでヒーヒー言っていたんです。加えて、昨年は事務所の引越。その前も引越。その前は法人化。お金を使うことも多いのが春でした。それが2015年、完全に逆転です。1・2月が、過去の繁忙期のどんな2ヶ月よりも、多くの仕事をいただきました。やっぱり大きい変化を実感した春、になったわけです。

さあ、新しい年度の始まり。2015年の1/4を過ぎて、エンジンも温まったところで、こっからスピード上げていきましょうか！ちなみに私は、「忙しそつー」って言われて恐縮ですが、何一つ変わらずです。週の半分は事務所仕事していただきますので、どうか気兼ねなく遊びに来てください。コーヒーすすりながら、春のポカポカ陽気のもと、のんびりダバりましょー。

心に響く感動の格言

Words by 福島正伸

枝が盛大に伸びれば、そりゃ「お目出度い(おめでたい)」。でも、広がった枝、高く伸びた幹を支えるのは、下に下に張り巡らされた、見ることができない根っこ。仕事でいえば、理念だったり、目標だったり、目には見えないけど、必要不可欠なこと。迷った時にこそ、深く考えたいですね。

新しい年度をきっかけに、仕事のあり方をもう一回見直してみようと思いました。

晴水の日は
枝がのびる

雨の日は
根がのびる



涼子の 気になっちゃう 広告!

キットカットのベンチ広告です。商品、そのまま箱をあける途中のデザインです。ここに座って、キットカットを食べたくなっちゃいますね。



ベンチの広告、集めました!!

広告は、いろんな所にあります。今回は、ベンチの広告を集めてみました。お楽しみください!!



NIKEのベンチは、なんと!!座席がありません。『RUN』と書かれただけ。座らないで、「走ろう!」というメッセージが込められているそうです。



ジムのベンチです。座るとその隣の大きな画面で体重が表示されます。座りたくないベンチですね。

ダイエットサプリメントの会社のベンチです。ほっそいベンチですね。スリム専用なのだそうです。



セミナー後は、
いろいろなお手紙が届きます



編集後記

いろいろな場所で、講演中!!

広告デザインは奥さまとの共同作業。いつか奥さまがお休みしても大丈夫なように、と始めた講演活動が、「超人気講師養成講座」なるスペシャルな字びを得てから、勢いづいています。

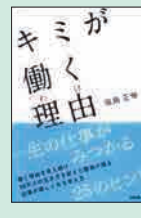
過去何度もリピートいただいているメーカーさんの研修会は、5月末のリピートが早くも決定。他の講演では、ジョイントセミナーのお誘いも頂きました。ご縁が次々と、本当嬉しいです!!

一張羅のアイロンがけも、立派なお仕事のひとつです。当て布しながら、スチームをぶしゅ〜! 明日もどこかで叫んでいます。チラシで世界を変えよう!!

講演後、
名古屋の夜を
ドキドキ散策



本を読み、 時代を読む



『キミが働く理由』
福島正伸 著 (中経出版)
1,404円(税込)

2013年12月『農業ドリームプラン プレゼンテーション』というイベントの冒頭、登壇台の下からニョキッと、おじさんが出てきました。周りの笑いを誘いながら、次々と心の芯に響く話をするので。この時が、福島正伸先生との出会いです。

「キミが働く理由」この本は、先生からの学びを振り返るには、うってつけです。やる気がモリモリ湧いてくる一冊です。このやる気を、私がお客様のために、世界を変えるために、やったるぜ! そんなぶっ飛んだ変態仲間になれる一冊。ぜひ読んでみてください。

した。このイベントはちょうど気持ちが落ち込んでいた時に参加しました。福島先生と同じ変態仲間(笑)の社労士さんがチケットをくれたんです。その後、先生がお話をされる機会に足を運び、先生が直接指導をしてくださる講座には、銀行さんに無理を言って参加しました。あのチケット一枚から私の人生は、楽しくって仕方ないループに入りました。

